

ふるさとの昔 17

青年団

古くは若者組などと呼ばれた村の青年集団は、地域の共同労働や冠婚葬祭の担い手としての役割を果たしていました。明治以降に生まれた新しい青年団体は、政府の青少年育成の働きかけにより次第に国との関係を深め、義務教育終了後の勤労青少年の教育の場となっていきました。青年団には、義務教育を修了してから20歳ころまで在籍することが多かったようです。坂祝村青年団は酒倉、勝山、深萱など各地区に分団がありそれぞれ活発に活動していました。



昭和11年研究農場でさつまいもの収穫をする深萱分団の青年たち。

青年団は、昭和期の戦争の時代には戦争遂行のための訓練を受け、銃後活動につとめました。青年団員は、昭和10年に開設された坂祝青年学校の生徒でもあり、昼は教練、夜は一般教科の授業を受けるほかに、小学校に隣接した研究農場で農業実習を行うこともありました。青年団員、青年学校生徒であった彼らは、家の農業を担う主要な労働力で多忙な日々を送っていました。



さかほぎなう!

パーソナリティ: 小栗かおる

毎月第三火曜日

18時～18時20分

次回のゲストは、社会福祉協議会 鈴木暖々花さん 三宅亮介さんです。
お楽しみに! #福祉

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。
FMららアプリダウンロードはこちらから。



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう




広報文芸

町民俳句 文化協会さかはふり俳句会

雨の庭けふの色美し額紫陽花
お隣の犬に吠えられサングラス
「暑いっ」と一言投げて夫帰宅
登山道手鏡ほどの湖めぐり
巨石なる城朗々と夏を座す
絡みつくキュウリのつるや無心なり
水荒く使ひ炎昼もてあます
朝蟬や樹々いきいきと蔭ひろげ
田植終ふ一村包む水明り
炎昼を来て一杯の水甘し

小関 美砂子
小関 美砂子
小関 美砂子
恩田 いせ子
恩田 いせ子
藤本 多寿子
藤本 多寿子
藤本 多寿子
伊藤 文
伊藤 文
伊藤 文
兼松 禎子
兼松 禎子
兼松 禎子

9月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・水・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。



不燃ごみ収集日 16日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。
金物、ガラス<ず>を分けて「もえないごみ収集袋」に。
袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 21日(日)

時 間: 8時～10時
場 所: 町内各自治会公民館
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、
水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池

田中	兼松	おくやみ
チワ	政則	
様(大針)	様(酒倉)	
95歳	74歳	

※坂祝町民に限りご利用いただけます。1名の提示につき、4名様まで使用可。

※町内在住がわかるものを入館窓口でご提示ください。

※他の割引券との併用、団体利用不可。

※営業情報はご来館前にHPにてお確かめください。

※証明書の提示割引でOKです。